



# 筑紫女学園大学リポジット

## On Differences in the Use of the Definite Article between British English and American English

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-02-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松崎, 徹, MATSUZAKI, Toru メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/251">https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/251</a>

# British English と American English における 定冠詞用法の差異について

松

徹

## On Differences in the Use of the Definite Article between British English and American English

Toru MATSUZAKI

### はじめに

British English (以下 BE と略) と American English (以下 AE と略) の相違点については、発音・語彙・文法の観点からこれまでの研究で指摘されているところであるが、冠詞の用法に関しても両者の間に差異が散見されるという報告もされている。たとえば、正保 (1996: 182-3) は、AE における定冠詞の用法の特徴として、以下のような慣用表現においても定冠詞を省略せずに用いることを挙げ、同じ表現では定冠詞を省略する BE との相違を指摘している。

AE	BE
in the spring	in spring
in the future	in future
go to the university	go to university
be in the hospital	be in hospital

また、*Oxford Advanced Learner's Dictionary* も hospital の用法に関して AE と BE との相違を次のように指摘している。

In BrE you say **to hospital** or **in hospital** when you are a patient: *I had to go to hospital. / She spent two weeks in hospital.* In AmE you need to use **the**: *I had to go to the hospital. / She spent two weeks in the hospital.*

本論では、上に挙げた 4 つの慣用表現と定冠詞に関して、英国および米国発行の新聞記事 (インターネット版) の英文を調査し、ジャーナリズムの分野で定冠詞の用法に差異が存在するのか、もし存在するとすればその差異が両者を明確に特徴づけるものでありうるのか検証を行なう。調査の

結果、まずジャーナリズムの分野においても正保が指摘するように AE では定冠詞を用いる一方、BE では省かれるという傾向がうかがえることが判明した。特に hospital に関しては、英米のジャーナリズムにおいて定冠詞の使用・不使用に関して正保の主張を強く裏付ける結果となった。しかしながら、spring や future に関しては、頻度の点からだけ見れば正保の主張は裏付けられているとは言い難い。特に、spring に関して言えば英国発行の新聞では the とともに用いられる頻度のほうが高く、同様に高い頻度で in the spring の形を好む米国のジャーナリズムにむしろ近い傾向がうかがえる。結論として、定冠詞の使用に関しての AE と BE の間の差異は常に一般化できるとは限らず、あくまでも名詞の種類とそれが用いられる文脈によって決まるものであると主張したい。

## BE と AE の差異に関する概論

BE と AE に関する差異に関してはこれまで数多くの研究がなされてきている (Baugh 1978: 342 - 399; 若田部 1985; 竹林 1988)。発音面においては、たとえば car という単語を BE の Received Pronunciation (容認発音) では [kɑːnt] と語尾の r を発音しないのに対し、AE の標準発音では [kɑːr] というように「巻き舌の r」を響かせるという相違がその代表的な例として挙げられている。その他にも、以下のような発音上の対比はよく知られている。

	BE	AE
can't	[kɑːnt]	[kænt]
hot	[hɒt]	[hæt]
bird	[bɜːd]	[bɜːrd]

また、綴り字面においても、19世紀前半に自ら編纂した2冊の辞書 - *A Compendious Dictionary of the English Language* (1806) と *An American Dictionary of the English Language* (1828) - の中で綴字改革を提唱・実践した Noah Webster の影響で、現在の BE と AEの間では以下のような綴りの差異が生じた。

BE	AE
centre	center
colour	color
traveller	traveler
realise	realize

さらに、語彙面では、新世界アメリカの発見は AE に動植物を中心とした新語 (skunk, raccoon, blueberry, pumpkin 等) をもたらした。また同一の事物を言い表す場合の、BE と AE における以下のような対比は現在でも明確に存在するところである。

BE	AE
railway	railroad
baggage	luggage
underground	subway
post	mail
lift	elevator
petrol	gasoline
flat	apartment

最後に文法・語法面において頻繁に取り上げられるのは have に関する用法である（竹林 234 ff）。すなわち，AE では一般動詞として have を用いる場合は，その他の一般動詞と同様，疑問文・否定文を作る際には助動詞 do/does/did と共起させるが，BE では have が「所有」を意味する場合は，疑問文・否定文において法助動詞 will や can などのような振る舞いをする。

- (1) a. *Have* you any money?  
 b. The village shop *hasn't* ice-cream. (竹林 p.235)

またその他にも，仮定法現在で BE 特有に用いられる should（例 It is natural that you be [ BE should be ] angry）や AE では「～のあちこちに」を意味する around が BE では about（例 We will travel around [ BE about ] Europe this summer）に置換できるなど，具体例の枚挙に暇がない。

では，本論のテーマである冠詞の用法に関して両言語の間でどのような差異が見られるのであろうか。竹林（1988）にはこの問題に関する比較的詳しい記述がある。まず，不定冠詞については両言語において顕著な差異はないようで特に触れられていない。問題は定冠詞であるが，上述したように正保が指摘する慣用表現以外にも，例えば最上級における定冠詞の有無に関して，副詞では通例定冠詞を省略する BE に対し，AE では定冠詞を省略しない場合が多いことが指摘されている（cf. 竹林 1988: 263）。

- (2) a. John runs the fastest in class. (AE)  
 b. John runs fastest in class. (BE)

ただし January 1 など日付の読み方に目を向けると，今度は BE では定冠詞をつけて January the first と読むのが通例であるのに対し，AE では通例省略して読むことが竹林によって指摘されている。このことは，定冠詞の省略が BE の特徴と結論付けることの早急さを物語る例として注目に値する。本論では以下，正保が指摘する通り慣用表現においても定冠詞の有無だけで BE と AE を区別することがはたして妥当なのかを，筆者が独自に収集したデータをもとに検証していくこと

にする。

## データ

本調査では、定冠詞の有無の点で BE・AE 間で差異があると正保が指摘した in (the) spring, in (the) future, go to (the) university, be in (the) hospital の 4 語句に関して、英国発行の *Guardian Unlimited Network* のオンライン版（以下 GUN と略）と米国発行の *USA Today* オンライン版（以下 USAT と略）それぞれから BE と AE のデータを収集した<sup>1</sup>。データの収集法としては、両新聞の2005年10月1日から7日までの1週間分のオンライン記事全てをキーワード検索にかけ、それぞれの単語が使用されている頻度と環境を調査した。今回の調査で新聞の記事を選んだのは、用語に関するできる限りの最新の情報を得ることがその目的である。そのために、データ収集に用いた記事の範囲は今回の調査を実施する直前の1週間と定めて、より最新の言語使用状況を把握することができるよう心がけた。

オンラインの記事を調査の対象にした理由としては、語（句）の検索が正確かつ迅速に行なえて、より多くのデータを収集することが可能になると考えたからである。実際、データの収集にはそれ相応の時間は要したが、同様なデータをペーパー版で収集しようとした場合と比較したら、精度と量の点において格段の差があったことは想像に難くない。なお、本論の記事の本文（body）のみをデータ収集の対象とした。これは、ジャーナリズムの一般的な傾向として見出しでは BE・AE の相違にかかわらず冠詞が省かれる傾向があるためである。また、新聞の記事では取材などにおいてある人物が発言したことをそのまま載せる場合が多いが、そうした資料はジャーナリズムの用法そのものを必ずしも忠実に反映しないものと考え、引用された文は本調査ではデータの対象外と見なした。

## データ分析

前節で述べた方法に基づいて行なったデータ収集の結果は以下の通りとなった（数字は頻度で、同一記事の中で複数回使用された語句も同数の頻度で数えた）<sup>2</sup>。

	GUN	USAT
in spring	5	3
in the spring	8	16
in future	10	0
in the future	15	13
go to university	16	0
go to the university	0	0
to be in hospital	15	2
to be in the hospital	1	1

まず、本調査の主眼であるところの、BE・AE 間の定冠詞の有無に関する差異に関しては、部分的ではあるものの正保の主張は一応裏付けられたと判断してよいと思われる。特に、university に関しては BE では定冠詞省略型、future に関しては AE では定冠詞付き型という一般化が立証される結果となっている。

ただしデータ全体を鳥瞰してみると、必ずしも正保の主張どおりではないことに気づく。例えば、spring に関する限りは、GUN では定冠詞付き型のほうが定冠詞省略型を頻度で上回っており、同じく高い割合で定冠詞付き型の用例が多い USAT と似た傾向が見出せる。一方、全19例中わずか3例ながら USAT でも定冠詞省略型が用いられている。また GUN での future も、spring の場合と同様で定冠詞付き型の頻度が省略型のそれを大きく上回っている。以上のようなデータを見る限りにおいては正保の主張を根底から見直す必要性がありそうにも思われる。ただし、後に検証するように、in (the) future には2通りの意味があり、それぞれの意味に応じて BE では定冠詞付き型と定冠詞省略型を使い分けていることが指摘されている (cf. 竹林 1988: 262)。

以上のことから、定冠詞の有無に関しては、たとえそれが慣用表現であったとしても、単純に頻度という観点のみから BE と AE の差異をとらえることの信憑性に疑問が投げかけられることが判明した。このことを踏まえた上で、以下4つの組の使用状況をそれぞれ詳細に検証していくことにする。

## IN SPRING VS. IN THE SPRING

前節でも指摘したように、GUN では定冠詞付き型 in the spring が省略型 in spring を頻度の点で上回っている。ただしここで留意すべきは、BE 的ではない定冠詞付き型があえて用いられている場合、その使用に関して文脈上の必然性があるか否かという点である。ひとつの明らかな傾向として、定冠詞付きの場合その直後に of 成句の形で西暦が続くことが指摘できる。先のデータに挙げられた8例中以下の3例がそれに該当する。

- (3) Ditto the World Wide Web, which was the preserve of an exclusive minority from its first release in 1990 until the Mosaic browser was released **in the spring of 1993**. (“Dixons’ tipping point - or the end of telephony as we know it” Oct 2, 2005)
- (4) He later transferred to Manchester City in 1989, returning to Everton in 1991 where he remained for three years, before joining Birmingham at the age of 32. He retired **in the spring of 1996**. (“Former footballer jailed for eight years” Oct 4, 2005)
- (5) An earlier Aiming High consultation document **in the spring of 2003** outlined the govern-

ment's commitment to continuing to raise standards for all young people whatever their ethnic or cultural background and ensuring that all education policies truly address the needs of every pupil in every school. (" More help for underachieving black pupils " Oct 7, 2005)

この「of + 西暦」の形が定冠詞を必要とする理由は、定冠詞の基本的な働きに着目すると理解しやすい。すなわち、the には指示対象を限定する働きがあり、「of + 西暦」では同じ春でも西暦何年の春というように十分な限定がされているので spring に the が冠せられるのは納得のいくところである<sup>3</sup>。なお、USAT でもこの「of + 西暦」の用法は頻繁に用いられており、以下のように16例中6例が該当する。

- (6) Anxiety over the outbreak has been exacerbated by fears of SARS    severe acute respiratory syndrome    which claimed 44 lives in Toronto from two outbreaks **in the spring of 2003**. (" Gonchar gets to be with, not against, Penguins " Oct 5, 2005)
- (7) Much of the money    including one donation to Blunt from an Abramoff client accused of running a " sweatshop " garment factory in the Northern Mariana Islands    changed hands **in the spring of 2000**, a period of keen interest to federal prosecutors. (" Nash's game figures to be better " Oct 6, 2005)
- (8) The DeLay group began transferring money to Blunt's group in two checks totaling \$150,000 **in the spring of 2000**, well before Republicans actually met in Philadelphia for the convention. The transfers accounted for most of money Blunt's group received during that period. (" Nash's game figures to be better " Oct 6, 2005)
- (9) The human shield practice became an issue **in the spring of 2002**, when the Israeli military carried out a major offensive in the West Bank, in response to a series of suicide bombings by Palestinian militants. (" Israel court bans practice of ' human shields ' in arrests " Oct 6, 2005)
- (10) City officials have been eager to downplay any threat of contagion, losing an estimated \$1 billion in tourism dollars during the SARS outbreak **in the spring of 2003**, when 44 people died of the respiratory syndrome in Toronto and an estimated 774 people worldwide died of the illness that year. (" Canadian officials ID mystery illness " Oct 6, 2005)
- (11) He has told the Senate Judiciary Committee that Abramoff, subject of a federal investigation

into his lobbying activities, began lobbying on behalf of Tyco **in the spring of 2003** and bragged about his ties to then-House Majority Leader Tom DeLay, R-Texas, and Karl Rove, Bush's top political aide. (" Lawyer with ties to lobbyist withdraws Justice nomination " Oct 7, 2005)

残る問題は, of 成句を伴わない場合でも定冠詞付き型の *in the spring* が以下のように *GUN* で 5 例あるという事実をどのように捉えるかということである。

- (12) I spent about eight hours a week there **in the spring** and early summer, sowing, weeding and dragging blankets on and off the cloches, but since then no more than the odd half-hour, watering winter seedlings. (" How I juggle my five allotments " Oct 1, 2005)
- (13) Epsom 3.00: Successful twice **in the spring**, Killena Boy showed he was capable of further success with an encouraging effort at Yarmouth last time. (" Monday can double up for Charlton " Oct 1, 2005)
- (14) The Treasury appointed Rod Eddington, former head of British Airways, to head the latest policy review. He starts this week and reports **in the spring**. (" Motorway toll puts more cars on roads " Oct 2, 2005)
- (15) Sri Lanka's attack is spin orientated, or to be more specific, Murali orientated, so the time to play them is **in the spring**, while the ball is still darting around for the seamers. Cunning, eh? (" Freddie seeks a winter of content " Oct 2, 2005)
- (16) Unlike Henman in his early days, Murray will face no obvious problems when the clay court season opens up **in the spring**, having spent his formative years playing in Barcelona. (" What Murray must do to make it into the world's elite " Oct 4, 2005)

筆者が精査した限りにおいては定冠詞付き型特有の言語環境は見出せなかった。この点においては, 正保の主張は裏付けられない結果となった。

## IN FUTURE VS. IN THE FUTURE

先に触れたように, *GUN* のデータで顕著なのが定冠詞省略型 *in future* と比べた場合の定冠詞付き型 *in the future* の頻度の高さである。竹林 (1988: 262) は *future* が *from now on* (これが



らは)の意味で用いられれば、BE・AE それぞれで in future・in the future と用法に違いが見られるのに対し、「将来に、未来に」の意味では BE・AE とともに in the future を用いると述べている。竹林の指摘が正しければ、上に挙げたデータも in (the) future が持つこうした意味の違いにその原因を帰することは可能であろう。しかし、この慣用表現が用いられている文脈を詳しく調べてみると、そのような意味の区別は常に明確であるわけではない。例えば、以下の例での future は無冠詞の用法なので、竹林の主張に従えば「将来に、未来に」の意味にとるべきであろうが、実際のところ from now on との区別が明瞭であるとは言いがたい。

- (17) There are small signs that even North Korea may be moving in a direction that will make it harder to organise events such as this **in the future**. (“Welcome to the strangest show on earth” Oct 1, 2005)

以下の例などはむしろ from now on を意味していると思われる。

- (18) Even though many Islamist leaders and former guerrilla fighters have signed up to it, they insist they will compete for power **in the future**. (“Uneasy amnesty” Oct 4, 2005)

前にも述べたように、本論ではジャーナリズムでの用法にその対象を限定する目的で、インタビューなどの引用文は調査の対象外としているが、実は in the future に関しては、*GUN* ではインタビューなどの受け答えなどによる発言で用いられている用例が14例にも及んでいる。

- (19) “I can’t see a point **in the future** where I will be staying in one place for a long time, and that feels exciting to me. I like being on the bus - I spent so many years living in crappy bedsits that the bus feels like luxury in comparison. Besides, it reminds me of camping holidays. Well, Nick makes it feel like a camping holiday by hanging up his washing all over the place.” (“Band of brothers” Oct 1, 2005)
- (20) He says the Met will investigate the shooting itself and adds: “I ask for your support for this measure, which may form the basis for amending legislation **in the future**.” (“Met chief tried to block shooting inquiry” Oct 1, 2005)
- (21) Hleb said of his first meeting with Wenger. “He left an impression of the standards of the club and the team but he did not say we have to win x, y, z **in the future**.” (“Child of change at home in Highbury” Oct 1, 2005)

- (22) Loyalist terrorists have rejected calls for them to follow the IRA and decommission their weapons. In an exclusive interview with The Observer, one of the leaders of the Ulster Volunteer Force confirmed that the organisation would not be disarming. "Decommissioning isn't even on our radar screen and is unlikely to be **in the future**," he said. ("Loyalists rule out surrender of arms" Oct 2, 2005)
- (23) "I was trapped in the sort of cycle you can get into in your 30s of thinking, well, I've got time. Next year, some time **in the future**, there will be a time when I do all this stuff. But he died six months after he retired, so all the things he was going to be able to do, he couldn't. So that was a huge ..." she breaks off, then continues, "it was the main thing that made me think, I've got to stop being a lawyer. Even if I never get published, I've just got to stop." ("The stone age diaries" Oct 3, 2005)
- (24) "Revolver got absolutely slated by everybody and it doesn't reflect well on the Sun website to be the only one plastered across the poster saying the movie is brilliant," says Matt Mueller, editor-at-large of Total Film magazine. "People may not trust it **in the future**. The public are savvy enough to know what's going on." ("How to flog a turkey" Oct 3, 2005)
- (25) "This means that children **in the future** will not only be eating healthier meals in schools but will understand why these meals are healthier." ("Pupils to be given healthy food lessons" Oct 3, 2005)
- (26) The channel is not the only organisation worried by the sentence. "It sets a dangerous precedent, particularly for anyone who seeks to interview Bin Laden **in the future**," says Jean-Francois Julliard of the watchdog Reporters Without Borders. ("When a reporter got too close to the story" Oct 3, 2005)
- (27) "I wish," she says, with a note of bitterness, "it hadn't happened that way. But that was the main catalyst, plus the gradual realisation that I wasn't happy. It sounds weird but if you're really busy it can take you a long time to notice. I must be very good at denial: I kept saying, when this case is over, next year will be better. Of course it never was. Momentum keeps you going and you keep living **in the future**. Which I've really stopped doing since I gave up law." ("The stone age diaries" Oct 3, 2005)

- (28) “ I cannot imagine that they can take away our political rights now. That would be the beginning of something we really don’t want and something very serious. **In the future**, nobody can stop us from having political ambitions. I don’t want people to prevent us from taking part in politics. ” (“ Uneasy amnesty ” Oct 4, 2005)
- (29) “ Brilliant, ” said Barbara Avelling from the North East Cambridgeshire constituency party. “ Ken Clarke is the one to beat the Labour party and that’s our main objective. David Cameron was brilliant too and will be good, but **in the future**. ” (“ ‘ Brilliant!’ ‘ Atrocious!’ ” Oct 4, 2005)
- (30) “ Which brings me to the main reason for squeaking to you tonight. The society’s first function as a body was a grand garden freight, and we hope for many more bodily functions **in the future**... ” (“ Ronnie Barker monologue: Pismpronunciation ” Oct 4, 2005)
- (31) “ I love this party - a party which has given so much to our country for so long, and which will do so again **in the future**. I am intensely and immensely proud of this party, and proud of you... ” (“ Full text: Michael Howard’s farewell speech as Tory leader ” Oct 6, 2005)
- (32) “ When I took the job 41/2 years ago I was asked by the FA to work with two or three English coaches who **in the future** could take over. I still work with these three people in Peter Taylor, Steve McClaren and Sammy Lee, ” said Eriksson. (“ Next manager should be one of my assistants, says Eriksson ” Oct 7, 2005)
- (33) A UKTV spokeswoman said: “ To talk of a channel is premature. We are launching a new sports show on October 15 and we may do more sports programming **in the future**. ” (“ UKTV to launch sport channel ” Oct 7, 2005)

インタビューでの in the future の用例の多さは、口語レベルで定冠詞付きの用法がより一般的であることを示唆するものではないだろうか。いずれにせよ、定冠詞に関する正保の一般化からは future は除外すべきではないかと筆者は考える。

## GO TO UNIVERSITY VS. GO TO THE UNIVERSITY

この慣用表現に関しては、英米両紙において大きな偏りが見られた。*GUN* では正保の主張を裏付けるように、無冠詞の *go to university* のみが16例となっている。そのうちの数例を以下に挙げる。

- (34) Meanwhile, the social reasons for **going to university** have withered. (“ Is the university of life a better option? ” Oct 2, 2005)
- (35) As more of us **go to university**, hop between jobs, move around the country and marry later, we build up large, varied networks. (“ So that’s what friends are for ” Oct 2, 2005)
- (36) What has not yet had enough attention is how the new student financial support system will ensure students from all backgrounds can **go to university**. (“ Devoted to debt ” Oct 4, 2005)

一方、*USAT* では *go to university* と *go to the university* いずれの用例も検索されなかった。ただし、*college* を検索にかけてみたところ「大学に通う」という意味で無冠詞の *go to college* が数例見つかった。

- (37) The next time the theory is presented on how kids from the city are being manipulated by greedy agents and packs of carnivorous and self-serving hangers-on, or else they’d smarten up and **go to college** ... (“ The double standard between LeBron and Wie ” Oct 6, 2005)
- (38) Mena offered her well-rehearsed reassurances, and they moved on to talk about Loyola’s music program. Later, Labrie acknowledged her parents aren’t enthusiastic about her **going to college** in New Orleans. (“ New Orleans colleges face recruitment challenge ” Oct 11, 2005)
- (39) Ford intended to **go to college** after his military service was completed. (“ August 2005 glimpses ” Oct 11, 2005)

上記のデータから判断すると、*USAT* では「大学に通う」という意味では *university* ではなく *college* を用いていることは明白であり、*university* の場合では定冠詞付きが慣用的という正保の主張は *college* では当てはまらないことになる。両言語とも *university* を含む慣用表現間で比較検討した正保の研究は再考に値するものであろう。

## IN HOSPITAL VS. IN THE HOSPITAL

冒頭にも述べたように、この *hospital* にまつわる表現での定冠詞の有無は BE と AE を峻別する際のリトマス試験紙のような役割を担っているようである。本調査でも *GUN* における定冠詞省略型の例が際立って多かった。

- (40) They spent four days in **hospital**, claiming they were injured in a motorcycle crash, before withdrawing from the games. ("Court to rule on drug ban for Kederis and Thanou" Oct 1, 2005)
- (41) Kederis and their coach at the time, Christos Tzekos, also face civil charges in Greece for avoiding three doping tests, including the one in Athens in August 2004, and faking the accident that put the two athletes **in hospital** for four days. ("Court to rule on drug ban for Kederis and Thanou" Oct 1, 2005)
- (42) He puts it down to the drugs he was prescribed after catching MRSA while **in hospital** for back pain. ("Old devil" Oct 1, 2005)
- (43) The Foreign Office has said that one Briton had been treated **in hospital** for minor injuries received in the blasts. There are no reports of British deaths. ("25 reported dead in Bali explosions" Oct 1, 2005)
- (44) There is a great deal more mayhem after these initial killings at the diner and one particular instance sees Tom's son, encouraged by his father's new heroic reputation, turning the tables on his persecutors at school, putting one of them **in hospital**. ("Go for your guns" Oct 2, 2005)
- (45) He only managed to put a bullet in his finger, and had to have the projectile cut out **in hospital**. ("Edvard the confessor" Oct 2, 2005)
- (46) A woman aged 76 was recovering **in hospital** yesterday after being attacked in the street by a stranger who then apparently killed himself. ("Stranger attacks woman, 76" Oct 2, 2005)
- (47) England captain David Beckham has missed training so far because his son is **in hospital** undergoing tests but is expected to join up with the squad tomorrow. ("Cole ruled out of

qualifiers " Oct 4, 2005)

- (48) Carl " Alfalfa " Switzer, the squeaky-voiced boy with the freckles and vacuous grin, was shot dead in 1959, aged 31; Darla Hood, the gang's leading lady, contracted hepatitis **in hospital** and died, aged 47; William " Buckwheat " Thomas died of a heart attack, aged 49; and Robert " Bobby " Blake was tried (and acquitted) on a charge of murdering his wife. (" Tommy Bond " Oct 4, 2005)
- (49) Prof Williams said. He was likely to spend at least a week **in hospital** after leaving intensive care. (" Best 'improving' in intensive care after treatment for infection " Oct 4, 2005)
- (50) A policeman is being treated **in hospital** after being stabbed when he and a colleague stopped two men in west London today. (" Policeman in hospital after stabbing " Oct 5, 2005)
- (51) Initial sums of £ 5,000 were paid immediately to the bereaved and £ 3,000 to those **in hospital** overnight. (" Compensation rushed through for victims of July 7 bombings " Oct 5, 2005)
- (52) The events of the year before Re-Covers read like a grim thriller: the three-day journeys from Tuva, to the airport in Moscow, before a tour can even begin; deportation from Hungary after passports were stolen; hassles from mobsters and government officials, and finally a car crash and a stay **in hospital** for Albert. (" We're jammin' " Oct 7, 2005)
- (53) An ambulance was called but one man was pronounced dead at the scene. The other is critically ill **in hospital**. (" Ram raid at Tiffany's leads to death crash " Oct 7, 2005)
- (54) The real PC Gabriel Kent lies comatose **in hospital** and, in spite of his brother's best efforts to smother him, has been resuscitated. (" Last night's TV " Oct 7, 2005)

BE の言語的特徴を象徴する in hospital ではありながら , それでもやはりごく少数ではあるが , *USAT* でも同様の定冠詞省略型が見受けられる。

- (55) Pande Wayan, whose wife Wayan Ani worked at a cafe near the blast and remains **in hospital** with shrapnel in her neck and back, said he was angry and disappointed over the failure to improve security. (" Bali officer: Cafes should have heeded warning " Oct 6, 2005)

- (56) This week the ethical committee for the Piedmont region, which includes Torino, said the experiment could resume, provided that women taking the pill were kept **in hospital** for at least two nights and were fully informed about the procedure. (“Italian abortion pill angers Vatican” Oct 7, 2005)

また逆に *GUN* においても一例ながら定冠詞付随型の *in the hospital* が使用された英文が見出せる。

- (57) Charco’s weirdly theatrical photographs of women acting “hysterically” in Salpetriere have become as iconic as the paintings of marginal women done in the same years by Degas and Toulouse-Lautrec - it’s easy to imagine that the woman brooding in a cafe in Degas’ painting *The Absinthe Drinkers* (1876) is that same Vaugustine who, two years later, was **in the hospital** being photographed by Charcot in states of religious and erotic ecstasy. (“A tale of two cities” Oct 6, 2005)

もちろん, *hospital* に定冠詞がつく場合には, *the* の基本用法の一つである前方照応であるかどうかを確認する必要があるが, 上の一節では脈絡から *hospital* が何か特定の病院を指しているわけではないことは明らかなので, やはり *GUN* での使用例は非 BE 的であるとして注目に値するものと考えられる。以上のデータから判断する限り, *hospital* と定冠詞の関係も常に BE と AE の識別に直結しているわけではないことが窺える。

## 結 語

本論では, 4つの慣用表現 *in (the) spring*, *in (the) future*, *go to (the) university*, *be in (the) hospital* における定冠詞の有無が BE と AE の差異を反映するものであるという正保の主張の正当性を実証するひとつの試みとして, 英米両国で発行されている新聞のオンライン版からデータを収集し, それぞれの慣用表現の頻度と脈絡の調査を行なった。その結果, 4つの慣用表現のうち, 正保の主張を最も忠実に反映していると思えるものは *go to (the) university* と *be in (the) hospital* の2つであることが判明した。残りの2例に関しては, ジャーナリズムの分野においては定冠詞の有無が BE の言語的特徴を反映していると言い難く, データから判断する限り, むしろ定冠詞付き型の *in the future* と *in the spring* が定冠詞省略型と比較した場合より AE 的な特徴を色濃く反映していると思えるべきだと考える。

最後になるが, 今回の調査が, *GUN* および *USAT* の記事の英文が BE と AE それぞれの言語的特徴を反映しているという前提のもとで行なわれたものであることは付記しておかなければなら

ない。また、ジャーナリズムの英語が同時代の言語使用状況をどの程度反映させているか、その判断を的確に下すのは非常に困難なことであるのは間違いのないところであり、本調査の信頼性をより高めるためにも今後調査の範囲をジャーナリズム以外にも広げていきたい。

## 註

- 1 *Guardian Unlimited Network* と *USA Today* の URL はそれぞれ <http://www.guardian.co.uk> と <http://www.usatoday.com> である。
- 2 表を見てまず気がつくことは、語句によってその使用頻度に差が見られることである。これはデータの時間的範囲を1週間と限定したためによって生じたものと考えられる。しかし、記事の内容・性質によって使用される語句の頻度に偏りが見られるのはむしろ当然のことと言えるので、仮に時間的範囲を広げたとしても表のような頻度の差異が小さくなるとは限らないと推測される。
- 3 *GUN* には年代が「1941年」と限定されているにもかかわらず定冠詞省略型が用いられている用例が1例ある。

The British army was on the brink of total victory over the Italians in north Africa **in spring** 1941 when the disastrous decision was taken to transfer British and Anzac troops to Greece in a belated attempt to bolster the Greek army against the German advance into the Balkans. (“Commander Christopher Havergal” Oct 7, 2005)

ただし、この場合は「of+西暦」の成句ではないことがその原因と考えられるが、いずれにせよ、年代による限定という観点のみで定冠詞の有無を結論付けることには慎重にならざるを得ない。

## 参 考 文 献

- Baugh, A.C. (1978) *A History of the English Language* (3rd ed.). Prentice-Hall, New Jersey.
- Celce-Murcia, M. and Diane Larsen-Freeman (1999) *The Grammar Book: An ESL/EFL Teacher's Course* (2nd ed.). Heinle & Heinle, Boston.
- Greenbaum, S. and Randolph Quirk (1990) *A Student's Grammar of the English Language*. Longman, London.
- Quirk, R. et. al. (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Longman, London.
- 正保富三 (1996) 『英語の冠詞がわかる本』研究社
- 鈴木寛次 (2003) 「歴史的に見る英語の冠詞」『月刊言語』第32巻第10号, 68-73
- 竹林滋他 (1988) 『アメリカ英語概説』大修館書店
- 若田部博哉 (1985) 『英語史Ⅲ B』(英語学体系第10巻) 大修館書店